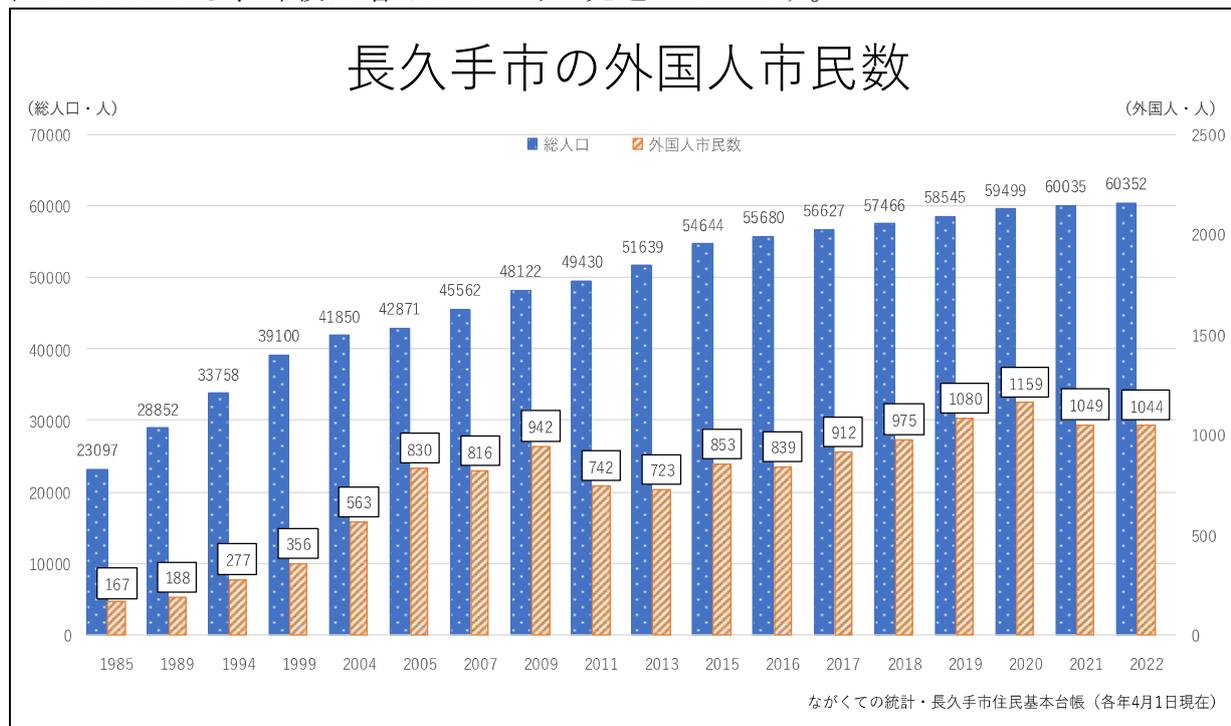


長久手市の外国人市民数・人口動態の現状について

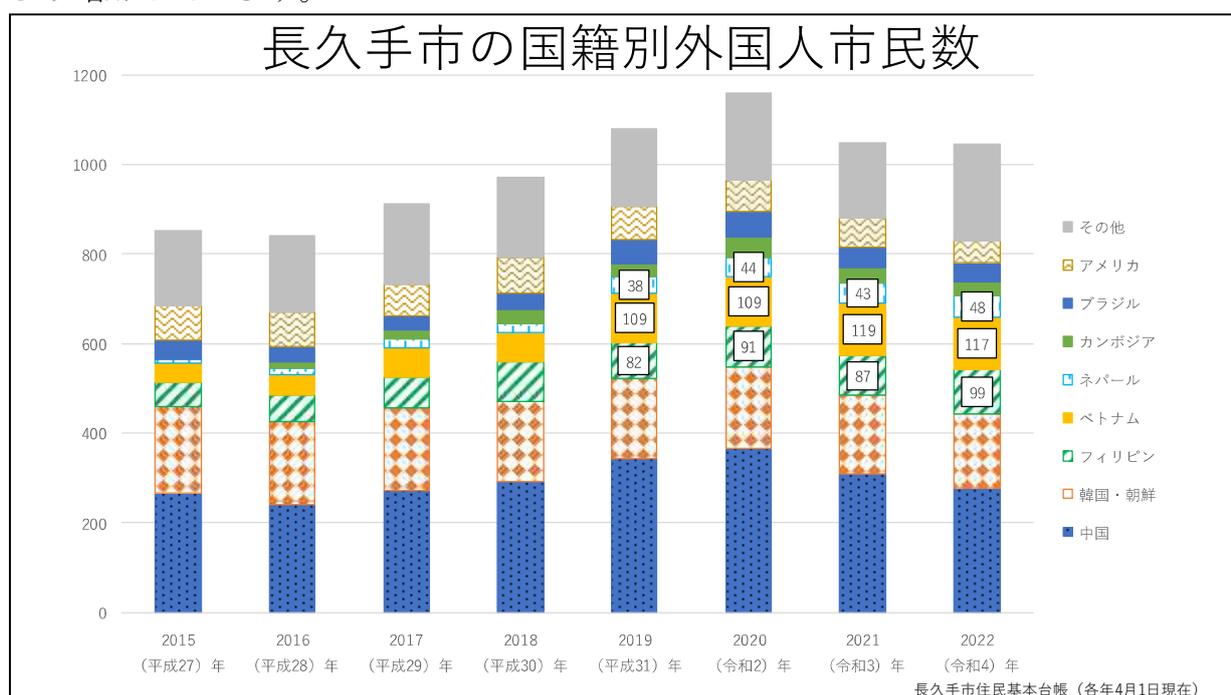
1 外国人市民の人口動態

概ね増加傾向にあります。2021（令和3）年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、約100人ほど減少しました。2022（令和4）年は微減していますが、6月に入国規制が緩和したことから、今後は増加していくと見込んでいます。



2 国籍別の外国人市民数

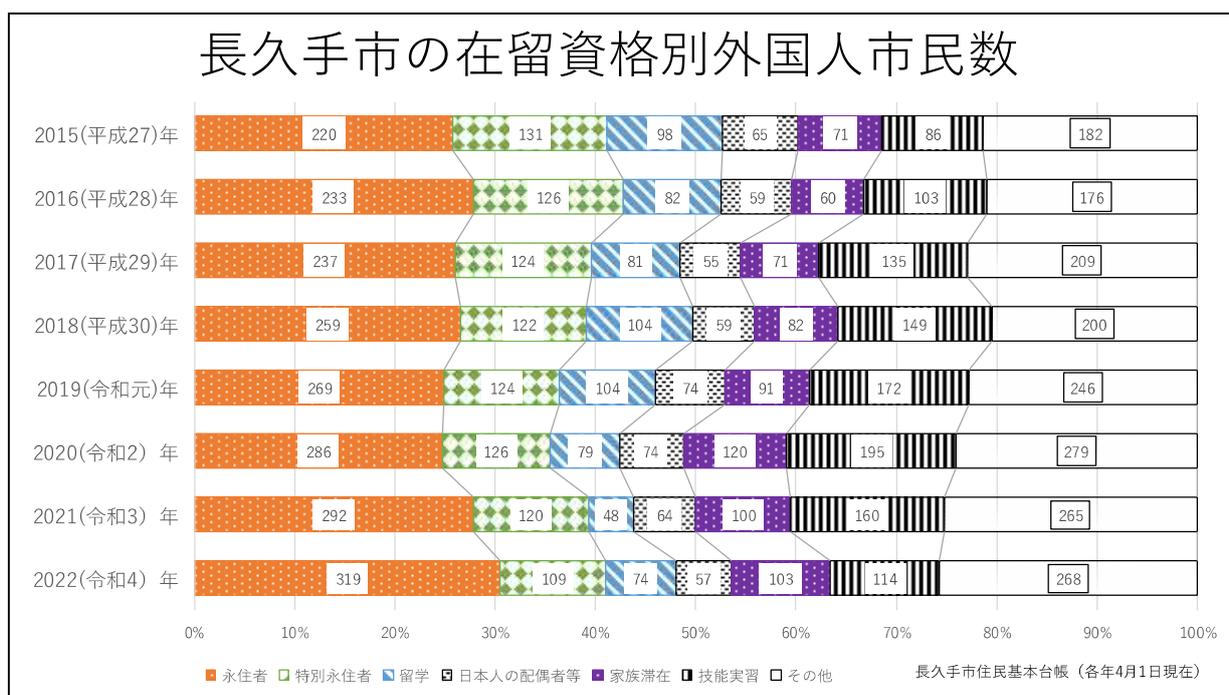
2021（令和3）年は、新型コロナウイルス感染症の影響で全体的に人数が減少した一方で、ベトナムは増加していました。2022（令和4）年では、フィリピン、ネパールが前年より増加しています。



3 在留資格別の外国人市民数

2021（令和3）年は、永住者は増加し、留学や技能実習は減少しました。2022（令和4）年は、前年に比べて留学は増加しています。また、技能実習は昨年に引き続き減少していますが、特定技能1号がこの1年で7人増加しています。

在留資格別の国籍人数は、特別永住者、特定技能以外は中国が最も多く、2021（令和3）年と大きく変わりはありません。



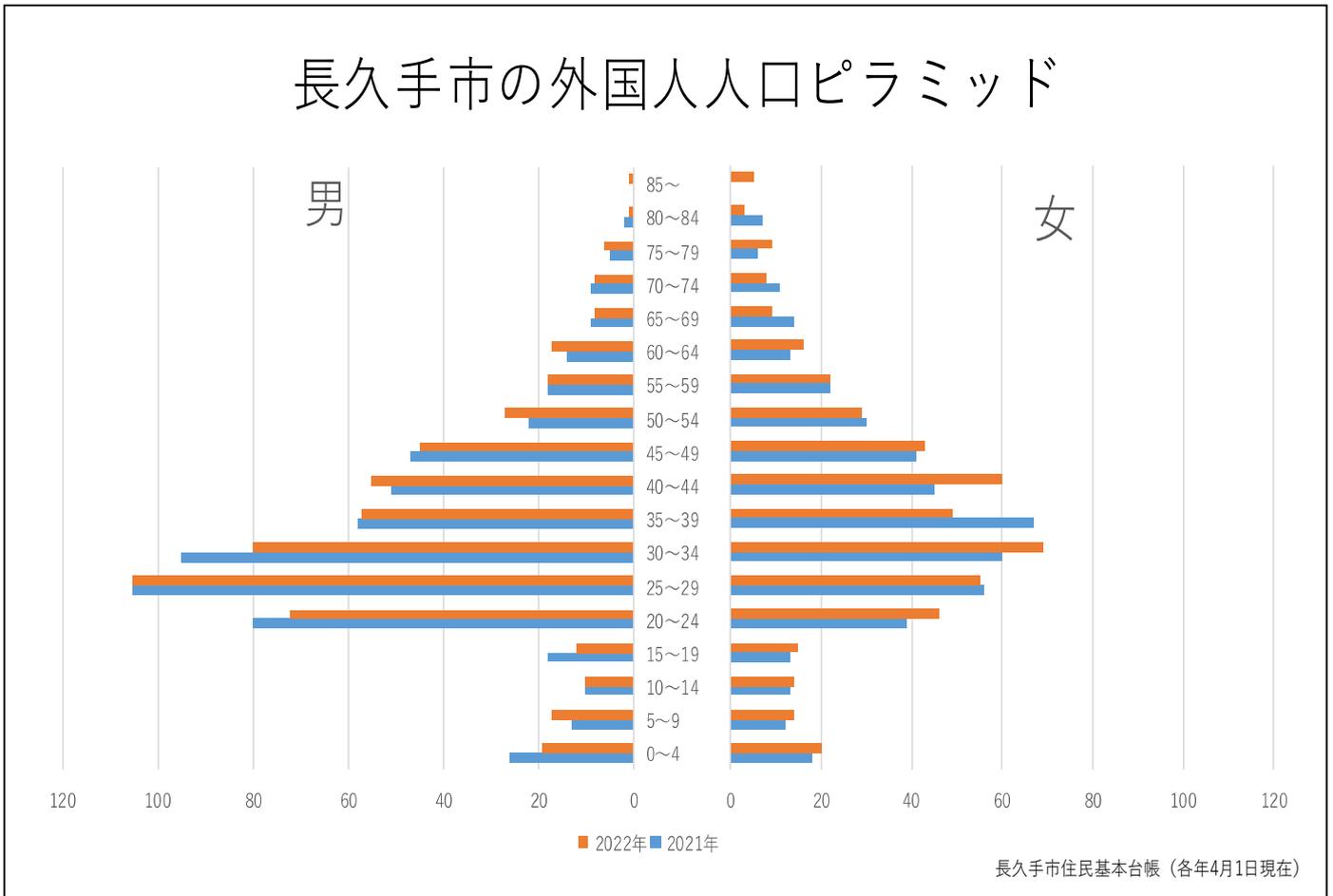
在留資格別の国籍人数

	1位		2位		3位		4位		5位	
永住者	中国	105	フィリピン	55	韓国・朝鮮	30	ブラジル	27	アメリカ	21
特別永住者	韓国・朝鮮	109	—	—	—	—	—	—	—	—
留学	中国	40	台湾	5	フランス	4	その他	74	—	—
日本人等の配偶者	中国	15	ブラジル	11	アメリカ	6	韓国・朝鮮	5	トルコ	4
家族滞在	中国	25	ベトナム	23	ネパール	22	ニュージーランド	12	韓国・朝鮮	10
技能実習	中国	29	カンボジア	25	ベトナム	24	フィリピン	20	ミャンマー	11
特定技能	ベトナム	6	フィリピン	2	その他	2	—	—	—	—

長久手市住民基本台帳（令和4年4月1日現在）

4 外国人市民の人口ピラミッド

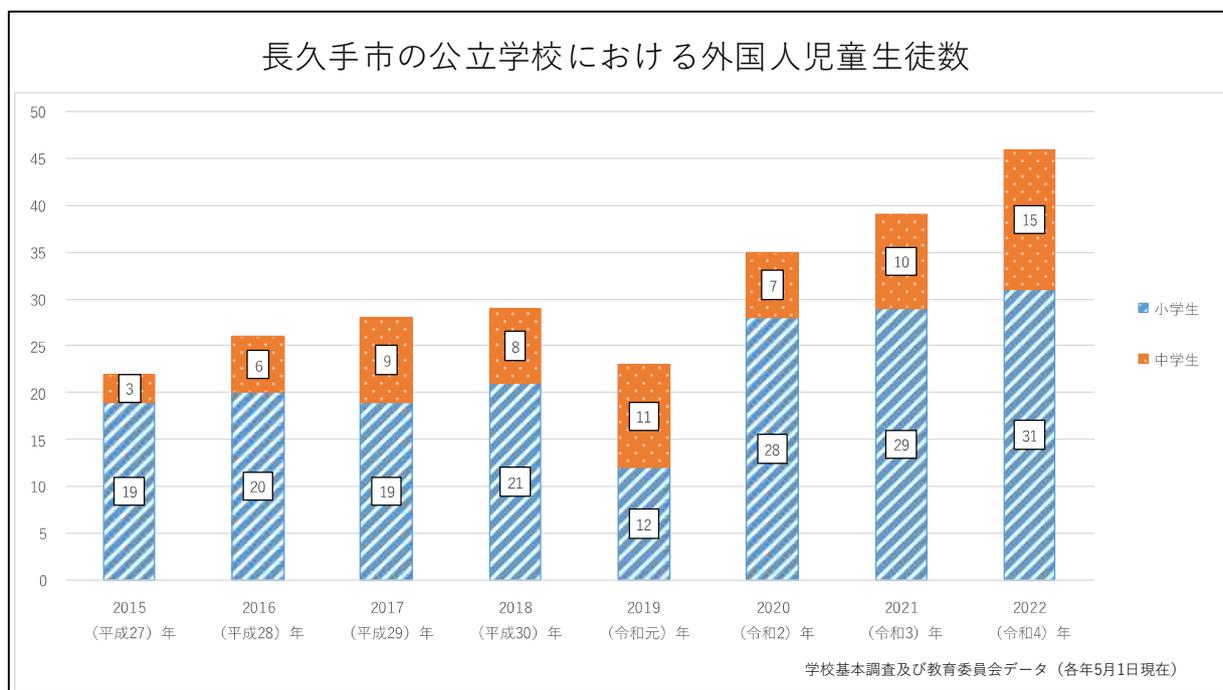
本市の外国人市民の構成は、男性は20代後半、女性は30代前半が最も多い人数となっています。また、0から4歳までの子どもの数が多いところも特徴です。



5 長久手市の外国人児童生徒数

長久手市の公立学校に通う外国人児童生徒数は年々増加し、2022（令和4）年は過去最多となっています。

また、日本語指導が必要な児童生徒数*も、2018（平成30）年度以降は外国人児童生徒全体に占める割合も1割以上となっていることに加え、多国籍化しています。



日本語指導が必要な児童生徒数

年度	2014年度	2016年度	2018年度	2020年度	2021年度	2022年度
児童生徒数	1	2	7	5	7	11
外国人児童生徒数に占める割合	7.6%	7.6%	24.1%	14.2%	17.9%	23.9%

学校基本調査及び教育委員会データ（各年5月1日現在）

*日本語指導が必要な児童生徒

日本語で日常会話が十分にできない児童生徒及び日常会話ができて、学年相当の学習言語が不足し、学習活動への参加に支障が生じている児童生徒。